

キリストと教会の婚姻

2026年 3月 1日

序：大患難期の前に起こること

(1) (時系列)

(2) (時系列でない=患難期前であるがどの段階で起こるか不明)

☆④教会の擄奪

☆⑤キリストの御座のさばき (擄奪された信者への報奨)

☆⑥キリストと教会との婚姻

⑤⑥は④の結果

患難期前に起こる最も重大なこと=教会の擄奪 (キリストは空中に再臨)

↓
キリストの御座のさばき (罪のさばきではなく報奨)

↓
キリストと教会の婚姻

I. キリストの再臨は二重

(1) 空中再臨

新約 (教会) 時代の聖徒たちを
大患難期の前に救う (擄奪) 為に
来る

↓
先に眠った者たちは新しい体に復活
生き残っている者は死を経ずして
新しい体に復活
合流して、主とともにいるようになる

↓
信仰者となつてから為した行いによって
報い (評価) を受ける (ランクがある)
[キリストの御座のさばき]

↓
千王国で主とともに治める

↓
それが終わると永遠の秩序 (天の御国)
に入る (ランクはなし、皆同じ)

(2) 地上再臨

すべての不信者たちを
大患難期の最後にさばく為に
来る

↓
先に死んだ者たちはハデスで苦悩
千年が終わり、サタンが牢から解
放され最後の戦いに臨み天からの
火で焼き尽くされ、火と硫黄の燃
えるゲヘナに投げ込まれる

↓
全時代の不信者たちは甦って、
白い御座のさばき (罪の刑罰) に
おいて、それぞれの行いに応じて
さばかれ、みなゲヘナにおいて永
遠に昼夜分かたず苦しみを受ける

↓
彼らの永遠に定められた秩序 (地
獄) に入る

II. 婚礼 (結婚式) と婚宴 (披露宴)

(1) 婚礼 (結婚式)

招かれる人は少数
家族、親族、親しい友人

擄奪後、キリストの御座の
さばきはすでに終わっている
婚礼の儀式は天で行われる

(2) 婚宴 (披露宴)

招かれる人は多数
婚礼に招かれなかった人々も招待
長いと7日間続く

地上再臨後、地上で行われる
千年王国の始まり

III. ユダヤの結婚の方法

(1) 花婿の父が (花嫁の父と合意の上) 結婚をアレンジする

子どもが幼い頃になされることもある (成人するまで待つ)

あるいは、結婚の1年以上前までにする

花婿の父は花嫁の父に花嫁料を払う (結納?) / 婚約

結婚時まで、花婿と花嫁は顔を合わせないこともある

婚約の時点で法的には夫婦とみなされる 例: ヨセフとマリヤ

(まだ実際的には夫婦生活はしていない)

- (2) 1年の準備期間に花婿は新居を用意する 花嫁は花婿にふさわしい伴侶となるため、自分自身を備える
- (3) 花婿が花嫁を迎えに行く
花婿の父は新居が備えられたのを確認する
" 迎えに行く時を決める (花婿が決めるのではない)
- (4) 婚礼 (結婚式)
花嫁はきよめの儀式を行って婚礼に臨む
名実ともに夫婦となる
招かれるのは親しい少数の人たち
- (5) 婚宴 (披露宴)
7日間も続くこともある
婚礼には招かれなかった人たちも招かれる

IV. キリストと教会の結婚

- (1) 父なる神が御子のためにアレンジし、花嫁料 (キリストの血、いのち) 払った
エペソ 5・25~27)
- (2) 花婿 (キリスト) が花嫁 (教会) を迎えに行くのが、携挙の時
テサロニケ I 4・13~18
- (3) それまでに花嫁のために住まいを備える
ヨハネ 14・1~3
- (4) 携挙のタイミングは父なる神が定めておられる (御子も御使いも知らない)
マタイ 24・36

住まいが備えられたら携挙が起こる
" るまでは起こらない
- (5) 携挙後、キリストの御座のさばきにより、花嫁のきよめの儀式を通過
コリント I 3・10~15
- (6) 天において婚礼 (結婚式)
黙示録 19・6~8
キリストの地上再臨より前に、天で行われる
花嫁 (教会) はすでに天にいる
光輝くきよい麻布の衣を (聖徒たちの正しい行い) を着ることを許可
御座のさばきはすでに済んでいる
教会が掲挙されて、時は過ぎている
- (7) キリストの再臨後、地上 (千年王国) において婚宴
旧約時代の聖徒たち、患難期の聖徒たちが復活して、婚宴に含まれる

V. 結び

- (1) 私たちは今、キリストとの婚約期間にある
- (2) キリストの贖いの血、きよいいのちが花嫁料としてすでに支払われた
- (3) キリストの花嫁としてふさわしく自分自身を備えている時期である
- (4) IVの(2)以下はこれから起こること、(1)からは二千年近くが経過したが、
神の約束は必ず果たされる
忍耐と希望を抱いて主の来臨を待ち望もう
日々与えられた地上の働きを忠実に果たしながら